

大菩薩嶺 報告書

報告者: 黒山幹太

1. 参加者: 3年1名、2年2名、1年1名 計4名
2. 実施日: 2016年2月9日(火)~10(水)
3. 行動報告: 徒歩 → バス ⇒

【1日目】 天候: 曇り

	塩山駅南口	⇒	大菩薩峠登山口	→	駐車場	→	千石平
着	8:44		9:57		10:14		10:40
発	9:30		10:05		10:22		
	→ 第二展望台		上日川峠 (ロッヂ長兵衛)				
着	11:15		12:00				
発	11:20						

時間	場所	状況、出来事など
8:44	塩山駅	寝坊等なく、塩山駅にて無事集合。集合時間を約45分前に設定したのは、次の列車がバス発車5分前だった為。駅前でも気温が低く、服をさらに着込む部員も見られた。
9:30	塩山駅	登山口行のバスが定刻通り発車。PASMO等のICカードが使用できた。バスでは他に客はいない。
9:57	大菩薩峠登山口	山行開始地点に到着。他に登山客なし。
10:05		登山口に於いて、計画者からの挨拶の後、出発。しばらく舗装路が続く。
10:14	裂石登山口駐車場	あまりにも「駐車場」への到着が早かったため、戸惑う。詳細は振り返りに記す。
10:22	丸川峠登山口駐車場	3分休憩をとる。ゲートから先の舗装路は凍結している箇所あり。注意しながら進む。
10:40	千石平	舗装路が終わり、登山道に入る。積雪5cm程度。
11:15	第二展望台	地図上には記載がなかったが、ここで5分休憩をとる。展望はあまりなし。
12:00	上日川峠 (ロッヂ長兵衛)	予定よりも25分早く到着。小屋の前の椅子に腰掛け話すも、あまりの寒さに会話をする気力が失せる者もいた。シンクには氷が張っていたが、水場は使用できた。山小屋に管理人がいた。テント場代1人300円を支払う。
13:30	ロッヂ長兵衛テント場	雪を踏み固め、ブルーシートを敷いた上にテントを張る。他にテントを張っている人はいない。
15:30	ロッヂ長兵衛テント場	夕食を作り始める。うどんは調理しやすい上に、失敗しにくく、何よりも美味だった。
18:00	ロッヂ長兵衛テント場	満天の星空に感動。ただ、外は強い風が吹いており、寒くてたまらない。
19:00	ロッヂ長兵衛テント場	各自就寝。

【2日目】

	上日川峠 (ロッヂ長兵衛)	→	福ちゃん荘	→	雷岩	→	大菩薩嶺	
着			7:10		8:12		8:23	
発	6:42		7:12				8:25	
	→	雷岩	→	賽ノ河原	→	大菩薩峠	→	石丸峠
着		8:33		9:08		9:30		10:30
発		8:45		9:18		9:35		10:40
	→	小屋平	→	上日川峠	→	千石平	→	駐車場
着		11:30		12:10		13:15		13:25
発				12:30				13:30
	→	大菩薩峠登山口	→	大菩薩の湯	⇒	塩山駅南口		
着		13:45		13:55		15:27		
発				15:03				

時間	場所	状況、出来事など
4:00	ロッヂ長兵衛テント場	起床。
4:15	ロッヂ長兵衛テント場	各自朝食をとる。竹村、湯沸かし中にガスを倒し、テント内にお湯をこぼす。足に軽度の火傷を負う。水のタンクで冷却。
5:30	ロッヂ長兵衛テント場	撤収開始。手がかじかみ、テントを畳むのに時間がかかる。
6:42	上日川峠 (ロッヂ長兵衛)	出発。撤収と荷物の整理に時間が掛かり、予定よりも出発が40分遅れる。各自、アイゼンを装着。
6:50		木村、アイゼンを着け直す。トレースが少し消えている箇所がある。
7:10	福ちゃん荘	2-3匹の鹿の群れを発見。
7:30	唐松尾根	山の斜面では、トレースが消えていた。登山道と環境保護エリアの仕切りであるロープを頼りに進む。
8:12	雷岩	とりあえず大菩薩嶺山頂へ向かう。
8:23	大菩薩嶺	写真撮影を試みるが風が強く、立ち止まると寒いので、2分後には出発。
8:33	雷岩	記念撮影。視界が良く、富士山が見える。
8:50		トレースなし。膝上まで雪がある箇所もある。
9:08	賽ノ河原	何らかの小屋の横にて風を防ぎつつ、休憩をとる。水筒に入れた水の一部が凍る。

時間	場所	状況、出来事など
8:30	大菩薩峠	トイレあり。峠周辺では積雪が少なく10cm程度。
		森に入ると急に雪が深くなり、全くトレースが見えなくなる。木に括りつけられたピンクのリボンを頼りに進む。膝上まで積雪あり。歩く度に足が雪に埋まり、次第に体力が奪われる。森を抜け、石丸峠の眼下に斜面を下る。土居、銀マットを尻に敷いて滑る。
10:40	石丸峠	トレースが確認できるようになるが、一時進む方向が分からなくなり、地図とコンパスで確認。
11:05	小屋平	一般観光客向けに整備された道を進む。比較的、道が分かりやすい。
12:10	上日川峠 (ロッチ長兵衛)	土居、木村、アイゼンを外す。20分ほど休憩をとる。
13:25	丸川峠登山口駐車場	竹村、黒山、アイゼンを外す。
13:55	大菩薩の湯	バスが来るまで入浴。市外在住の学生は利用料が半額(1人300円)というキャンペーン中だった。
15:08	大菩薩の湯	バス発車
15:27	塩山駅南口	バスが駅に到着。
15:34	塩山駅	電車に乗る。車内で解散。

4. 計画者の振り返り

今回は、ワンダーフォーゲル部に入部して1年も経っていない私が、初めて登山計画を立て、山行では先頭を歩いた。今までは先輩の後ろにただ着いて行くだけだったが、先導者として先頭を歩く以上は、各部員の体調や歩く速度を配慮しながら、コースを見極めて進んで行かねばならない。また、計画者として、登山コースはもちろんのこと、宿営地の情報などをしっかりと把握せねばならない。そう考えると、大菩薩での私の行動は、計画者としても先導者としても不適切であったと言わざるを得ない。先導者としてはまず、他の部員を置いてきぼりにして先に進んでしまったことは問題である。こまめに後ろを振り返るようにしていたものの、気付くと距離ができており、後ろを歩く部員を焦らせてしまった可能性がある。一泊二日であったからまだ良かったものの、合宿のような長期間に渡る山行の場合、このような焦りは部員全体の精神衛生上、決して良いものとは言えない。焦ることで、滑ったりつまずいたりして怪我をする可能性もある。以後気をつけたい。

そして、計画者としては、事前調査の甘さが問題として挙げられる。山と高原地図では「㊤」とのみ表記されていたため、「裂石登山口駐車場」「丸川峠登山口駐車場」の区別がつかず、一瞬焦ってしまった。こういった詰め甘さは、遭難などを惹起しかねないため、以後は(1.表記が曖昧な場合は複数の地図でコースを確認する必要がある。

ともあれ、全員無事に下山することができたのは良いことであった。春合宿に向けた良いトレーニングになったことは間違いなさだろう。

5.写真



雷岩にて記念撮影



石丸峠の直前。歩かずに滑り降りようと試みる。